

ビーバーアイアン 壁掛型据付説明書

据付工事前にお読みになり、正しく据え付けてください。
この据付説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。
据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法・お手入れの仕方を説明してください。



家庭用エアコンにはGWP（地球温暖化係数）が675のフロン類（R32）が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取り扱いをしたときに生じる内容を次のように区分して説明しています。

△警告 死亡または重傷等の重大な結果に結び付くおそれがあるもの。

△注意 ケガや財産に損害を受けるおそれがあるもの。状況によっては重大な結果に結び付くおそれがあるもの。

■お守りいただく内容を「図記号」で区分して説明しています。

絶対に行わない。

必ず指示に従い行う。

△警告

- 指定冷媒（R32）以外は使用（冷媒補充・入替え）しない。（機器の故障・破裂・ケガ等の原因）
- 冷凍サイクル（配管）内に、指定冷媒（R32）以外の空気等を混入させない。（冷凍サイクル内が異常に高圧になり、破裂・ケガ等の原因）
- 電源コードの加工、途中接続、タコ足配線はしない。
- 電源コードを束ねたり、巻いたり電源プラグを踏むなどして変形させない。（接触不良・絶縁不良・許容電流オーバー等により、発熱・火災・感電の原因）
- ドレンホースは、硫黄系ガス等有害ガスの発生する排水溝に直接入れない。（室内への有害ガス侵入・故障・冷媒漏れの原因）

- 据付工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行い、据付工事部品は必ず付属部品および指定の部品を使用する。（ユニットの落下・水漏れ・感電や火災の原因）
- 据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行う。（ユニットの落下・転倒によるケガの原因）

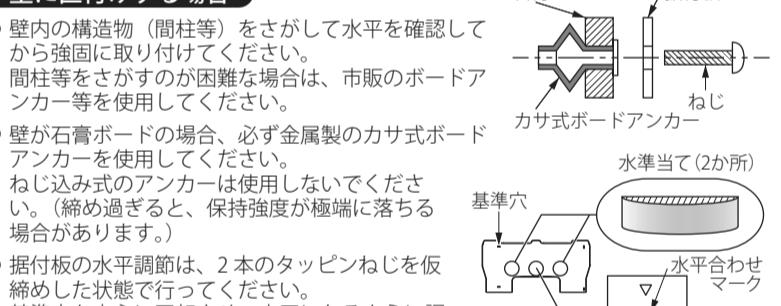
- 電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」、「線路規程」、および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。（感電・火災の原因）
- 漏電しゃ断器を取り付ける。（感電・火災の原因）
- ユニット内の作業（据付時やサービス時等）を行うときは、電源を切ってから行う。（感電の原因）
- 内外接続配線は、途中接続やより線の使用をせず、所定のケーブルを使用し、端子台へ確実に接続する。（発熱・感電・火災の原因）
- 内外接続配線は、浮き上がりないように整形し、リッド、サービスパネルを確実に取り付ける。（発熱・感電・火災の原因）
- 電源プラグを差し込む際は、刃の根元まで確実に差し込む。電源プラグ側だけでなく、コンセント側にもホコリの付着、詰まり、ガタツキがないことを確認する。（ホコリの付着・詰まり・ガタツキがあると、感電・火災の原因）

*コンセントにガタツキがある場合は交換する。

3. 据付板の取り付け

据付板は水平に取り付けてください。

壁に直付けする場合



※ねじは9本のうち5本は必ずX印の箇所に打ってください。残ったねじは点線内のねじ穴に各2本打ってください。

回り線と鴨居に据え付ける場合

● 真壁据付用セット（HA08124）（別売品）を使用してください。

● 据付板は、水平を確認してから固定してください。

● 据付金具は、420mm～700mmの間で調節できます。

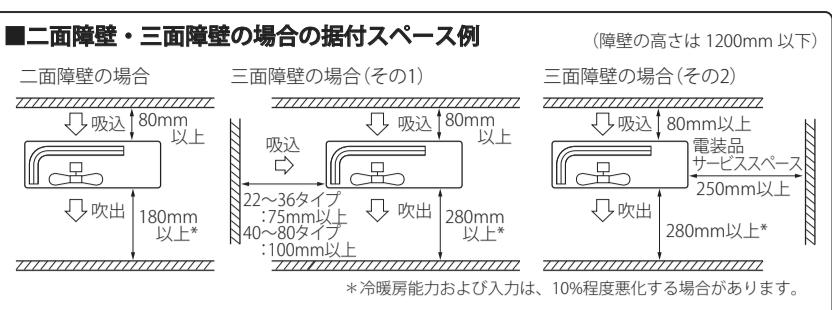
● 真壁据付用セットに付属のねじを使用してください。

● 壁面に据え付ける場合

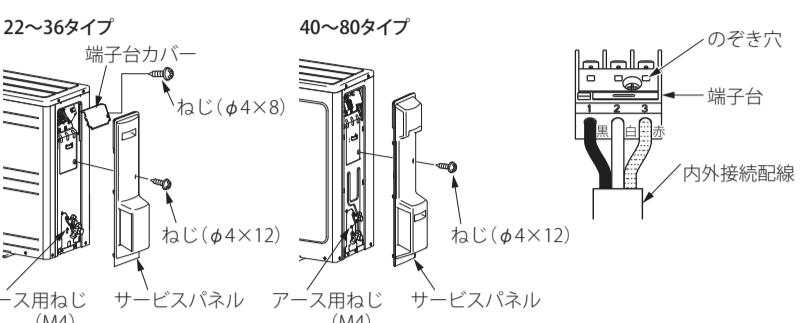
9. 室外ユニットの設置と配線接続

室外ユニットは水平に据え付けてください。

- ユニット脚部はガタつかないよう頑丈な台等に固定してください。
- 高所や強風が当たる所や転倒や落すおそれがある場所に設置する場合は、基礎ボルトやワイヤー等で室外ユニットを固定してください。
- 屋上や高所に据え付ける場合は、通路にハシゴや手すり等、室外ユニット周辺にフェンスや手すり等を設けてください。
- 吸込口および吹出口に壁等の障害物がある場所に据え付ける場合は、右記に従ってください。



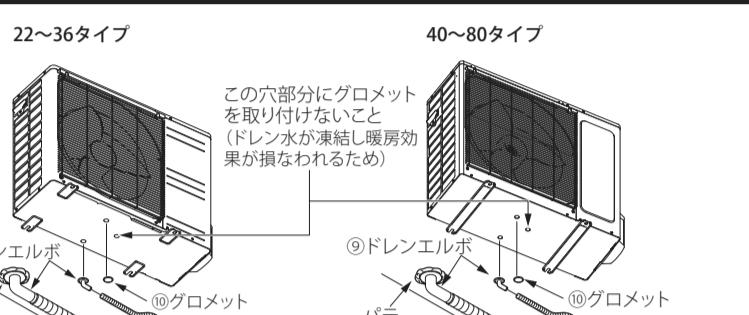
- 内外接続配線の被覆を18mmむく。
- ねじを外し、サービスパネルを取り外す。
- ねじを外し、端子台カバーを取り外す。
(22~36タイプのみ)
- 内外接続配線を端子台に接続する。
 - 内外接続配線は、端子台の奥までしっかり挿入してください。
 - のぞき穴から心線が見えることを確認してください。
 - 内外接続配線は、室内ユニットの端子番号に合わせて接続してください。
- 端子台カバー、サービスパネルを取り付ける。



10. 室外ユニットのドレン工事

設置状況、お客様の要望を確認し、ドレン工事の要否を判断してください。⑨ドレンエルボ、⑩グロメットの周りをバテ、コーティング材等でシールし、ドレンホース（現地手配）を接続してください。ドレン工事を行わない場合、ドレンエルボ・グロメットをお客様に渡してください。

■お願い
寒冷地ではドレン水が凍結するため、ドレンエルボ・グロメットは取付けないでください。室外ユニットのドレン水は、たれ流しにしてください。
※寒冷地：日中でも0°C以下の日が2~3日連続する地域



11. アース工事

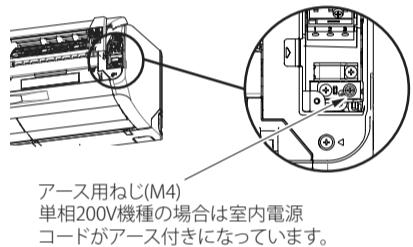
アース工事や漏電しゃ断器の取り付けは、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」に従ってください。

接地の基準は、エアコンの電源電圧および設置場所により異なります。

電源の条件	設置場所	水気のある場所	湿気のある場所	乾燥した場所
対地電圧が150V以下の場合は	100Vの機種 (含単相3線式200Vの機種)	D種接地工事 (第3種接地工事)が必要です。	D種接地工事(第3種接地工事)は法的には除外されますが安全のため接地工事をしてください。	
対地電圧が150Vを超える場合は	三相200Vの機種 (含単相3線式200Vの機種)			漏電しゃ断器を取り付けさらに第3種接地工事が必要です。

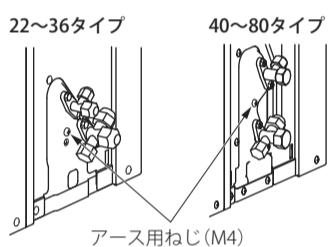
1. 室内アースを取り付ける。

- 端子台カバーを取り外す。(5項参照)
- アース線をアース端子に接続する。



2. 室外アースを取り付ける。

- サービスパネルを取り外す。
- アース線をアース端子に接続する。



14. 試運転と確認

必ず試運転を行ってください。

試運転前や試運転中、工事完了後にチェック項目を確認して、確認済みの項目について□の中に印を記入してください。

① 試運転の前に

- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、電源電圧を測定する。
- 室内ユニットに空気清浄フィルターを取り付ける。(詳細は取扱説明書参照)
- リモコンに乾電池を入れ、設定を行う。(詳細は取扱説明書参照)

試運転前に次のことを確認してください。

電源	
1 電源は専用回路を設けているか。	<input type="checkbox"/>
2 電源電圧は製品仕様と合っているか。	<input type="checkbox"/>
3 電源コンセントとプラグに“ガタ”はないか。	<input type="checkbox"/>
4 電源コードの切断やより線接続等の加工はしていないか。	<input type="checkbox"/>
5 延長コードやタコ足配線していないか。	<input type="checkbox"/>
6 電源コードを極度に折り曲げたり、束ねたり、ステッブルで固定していないか。	<input type="checkbox"/>
7 電源コードを室内ユニット本体等で圧迫していないか。	<input type="checkbox"/>
内外接続配線	
8 内外接続配線は所定のケーブルを使用しているか。	<input type="checkbox"/>
9 内外接続配線は途中接続をしていないか。	<input type="checkbox"/>
10 内外接続配線の皮むき長さは規定の寸法通りか。	<input type="checkbox"/>
11 内外接続配線の端子台への挿入・固定は確実か。	<input type="checkbox"/>

アースと漏電しゃ断器	
12 アースの接続は確実か。	<input type="checkbox"/>
13 漏電しゃ断器は設置してあるか。	<input type="checkbox"/>
冷媒回路	
14 操作弁は全開にしたか。	<input type="checkbox"/>
15 内外接続配管部からの冷媒漏れはないか。	<input type="checkbox"/>
ユニット・後処理	
16 室内ユニットは据付板にガタなくはめ込まれているか。	<input type="checkbox"/>
17 据付場所の強度は十分で、騒音や振動が増大しない場所か。	<input type="checkbox"/>
18 内外接続配管部の断熱をしたか。	<input type="checkbox"/>
19 壁穴部のシールは確実にしたか。	<input type="checkbox"/>
20 ドレンホースの固定は確実か。	<input type="checkbox"/>
21 空気清浄フィルターは取り付けたか。	<input type="checkbox"/>
22 梱包材やテープ類はすべて撤去したか。	<input type="checkbox"/>

■ エアフィルター位置の自動調整について

電源投入時および吸込パネルを開いたときは、数秒~3分間エアフィルターの位置を自動調整します。(フィルター清掃ランプ(緑)が点灯します。)

この間はエアコン運転ができません。フィルター清掃ランプが消灯したら、運転を始めてください。

3. 約20分運転し、次のことを確認する。

確認項目	
1 吹出口から冷風または温風がでているか。	<input type="checkbox"/>
2 フラップ・レバーは正常に動作しているか。	<input type="checkbox"/>
3 ドレン水の排水は確実か。	<input type="checkbox"/>
4 室内・室外ユニットから異常音はないか。	<input type="checkbox"/>
5 本体表示ランプの点灯は正常か。	<input type="checkbox"/>
6 リモコンの信号は受信したか。	<input type="checkbox"/>
7 リモコンの表示は正常か。	<input type="checkbox"/>

4. リモコンの停止ボタンを押し、運転を停止する。

■ 3分間再起動防止タイマーについて

エアコンを再起動するときや運転を切り換えたときは約3分間運転を始めません。これは本体の保護のためで故障ではありません。

機種名	製造番号
1 お客様に取扱説明書に従って使用方法とお手入れの仕方について説明したか。	<input type="checkbox"/>
2 お客様に保証書・取扱説明書・据付説明書を渡して、保管いただくように説明したか。	<input type="checkbox"/>
3 お客様に工事内容について説明したか。	<input type="checkbox"/>
4 お客様に連絡先を伝えたか。	<input type="checkbox"/>

④ 試運転の後に

お客様にご使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。

確認項目

1 お客様に取扱説明書に従って使用方法とお手入れの仕方について説明したか。	<input type="checkbox"/>
2 お客様に保証書・取扱説明書・据付説明書を渡して、保管いただくように説明したか。	<input type="checkbox"/>
3 お客様に工事内容について説明したか。	<input type="checkbox"/>
4 お客様に連絡先を伝えたか。	<input type="checkbox"/>

12. 配管の接続

!重要

配管セットを使用する場合

- R32またはR410A用配管セットを使用してください。R22の冷媒用配管セット(肉厚が0.8mm未満の薄肉配管)は耐圧強度が足りないため、絶対に使用しないでください。
- 冷媒種: 2種、対応冷媒名: R32またはR410A、銅管口径×肉厚: 6.35×0.8 / 9.52×0.8 / 12.7×0.8
- この配管セットで、フレアナットが付き、フレア加工されているものは、そのまま使用できます。

- JIS H 3300「銅および銅合金継目無管」のC1220タイプ(フレア加工が必要です。付着量: 40mg/10m以下 配管肉厚: 0.8mm)
- フレアナットは、エアコン本体付属のものを使用してください。

① 配管の準備(フレア加工)

- エアコン本体からフレアナットを外す。



- パイプカッターで配管を切断する。

切断面は直角にする。

- バリ取りする。

切り粉が配管に入らないように配管を下向きにして行う。ゴミ、砂等の異物が入らないように切面をテープでふさぐ。

- フレアナットを接続配管に挿入し、フレア加工する。

銅管径	A寸法(mm)
液側Φ6.35	9.1
ガス側Φ9.52	13.2
ガス側Φ12.7	16.6

- 加工後、フレア内部に傷がないこと、真円に加工されていることを確認する。

② 配管の接続

- フレアナットを手で仮締めする。

- トルクレンチを使って、既定の締付トルクで締め付ける。

(フレアナットを締め付け過ぎると、長期経過後、フレアナットが割れ冷媒漏れの原因になります。)

- 冷媒配管の防露断熱工事を行う。

(防露断熱工事を確実に行なないと、水漏れ・露たれ・家財等を濡らす原因になります。)

△注意

- フレア面への冷凍機油塗布は行わない。

(結付トルクが過大となり応力腐食割れが起こり、冷媒漏れの原因になります。)

■フレアツールについて

銅管径	B寸法(mm)

<tbl_r cells="2" ix="1" maxcspan="1" maxr